

予防対策チェック表の活用について

本チェック表は、主催者、チーム代表者、選手等が大会期間中毎日それぞれの予防対策をチェックし、東北総体に参加するもの皆で安全・安心な大会にするためのものである。参加者全員の御協力よろしくお願いいたします。

1 各チーム内感染防止班長の設置

本チェック表に係る業務を効果的に実施するために、各チーム内に監督とは別に感染防止班長を設置し、チェック表の確認及びチーム内の感染防止に係る業務（行動記録及び健康観察記録証明書及び大会参加者健康チェックシートの集約及び確認等）を行うこと。

2 事前のチェックについて

- (1) 主催者、チーム代表者、選手等は、大会実施前に、各項目をチェックし、すべての項目にチェックが付くようにする（実施前の段階では項目に示されている内容を実施予定であることを想定しチェックする）。
- (2) 主催者は、監督会議等で主催者用のチェック項目を示し、チーム代表者に係る内容を指導することでチェックを入れる。
- (3) 主催者用で、「換気」や「ドアノブ等の消毒」など、定期的に行うものについては、その担当者や割り当て等を決めて実施できる体制になっている場合にチェックをいれる。
- (4) チーム代表者は会場に入る前に、選手等のチェックリストを確認した後、入場を許可すること（その旨、選手等に伝えること）。

3 事後のチェックについて

- (1) 主催者、チーム代表者、選手等は、大会日毎にチェック項目を確認し、不備がなかった場合チェックを入れる。
- (2) 事後チェック後、不備が確認された場合は、翌日の大会実施前に改善し感染防止対策を徹底すること。

4 チェック表の保管について

- (1) 選手等用のチェックリストは、チーム代表者が回収し、2週間程度保管すること。大会関係者等に感染が確認されない場合には、選手等に確認し、返却するか確実に処分すること。
- (2) チーム代表者用のチェックリストについては主催者が必要に応じて回収し、2週間程度保管すること（回収しない場合は、チーム代表者が保管すること）。大会関係者等に感染が確認されない場合には、チーム代表者に確認し、返却するか確実に処分すること。